農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

貝塚市長

市町村名 (市町村コード)	貝塚市 (272086)
地域名 (地域内農業集落)	梶谷 (梶谷)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月10日 (第1回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載して

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果について 畑作・果樹の栽培がある地域である。 19%の農業者が80歳以上の高齢者である。 現状耕作していない農地が67%、保全管理のみが7%、10年後「売却したい・委託したい・貸し出したい」農地が22%となり、農地の保全・管理が課題である。 担い手の確保・育成が課題である。 ・農地、農道について 農道が無く、農地の草刈や倒木撤去などの管理が難しい。 ・水利関係について 近木川の上流域であり、水はきれいであるが、水量が少ない。 ・その他について 山間部で自然が豊かであるが、鳥獣被害が多い。交通の利便性はよい。
--

(2) 地域における農業の将来の在り方

<ul style="list-style-type: none"> ・地域作物について 昔は水稲が大半であったが、現在は農家が少なく、畑作と果樹が栽培されている。 ・栽培、承継等について 果樹類の栽培を行い、収穫体験などに来てもらえるような地域を目指すことも検討していく。 ・その他課題について 娯楽施設を設置するなど、集客できるような地域を目指すことを検討する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	4.5 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	4.5 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農用地は農業上の利用が行われるものとする。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
新規就農者など他地域の農業者でも受け入れる方針。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
新規就農者など他地域の農業者を受け入れる場合に活用する。
(3) 基盤整備事業への取組方針
現在は基盤整備事業を希望する声はない。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針

地域を活用するために多様な経営体の確保をしていく。体験型農業や農泊をやるなら村全体でやっていきたいとの声もある。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

活用できるサービスがあれば検討したい。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

☐	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☐	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☐	⑦保全・管理等	☐	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組方針】